

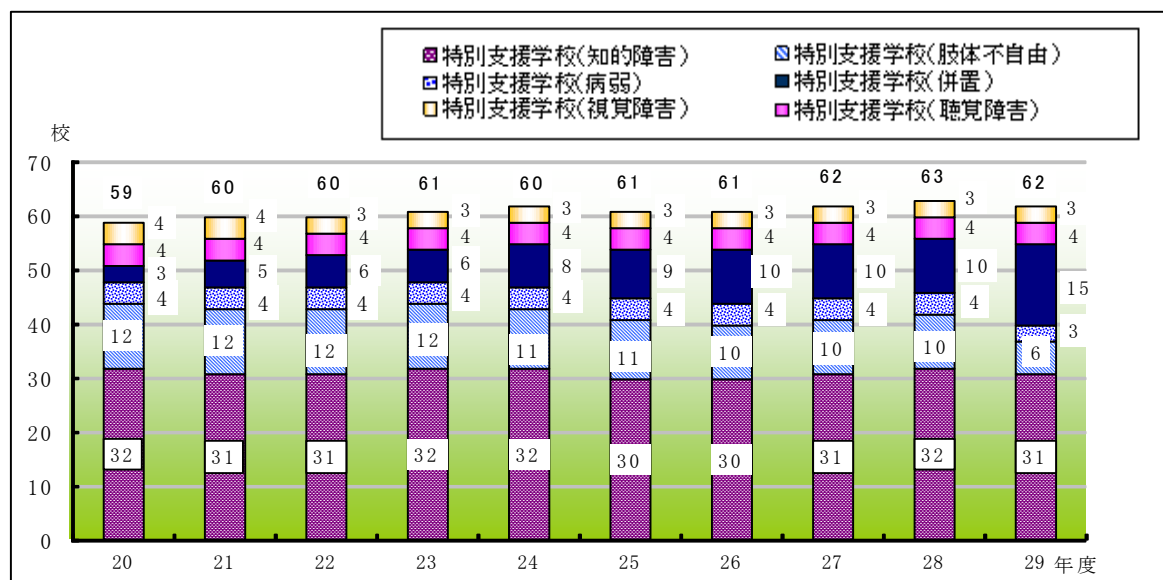
## 6 特別支援学校

### (1) 学校数

学校数は、62校(都立57校、区立5校)で、前年度より1校減少している。

障害種別で見ると、視覚障害3校(都立3校)、聴覚障害4校(都立4校)、知的障害31校(都立30校、区立1校)、肢体不自由6校(都立5校、区立1校)、病弱3校(区立3校)、知的障害・肢体不自由併置校9校(都立9校)、視覚障害・知的障害併置校1校(都立1校)、病弱・知的障害併置校1校(都立1校)、病弱・肢体不自由併置校4校(都立4校)となっている。(P.74第31表)

図27 学校数の推移



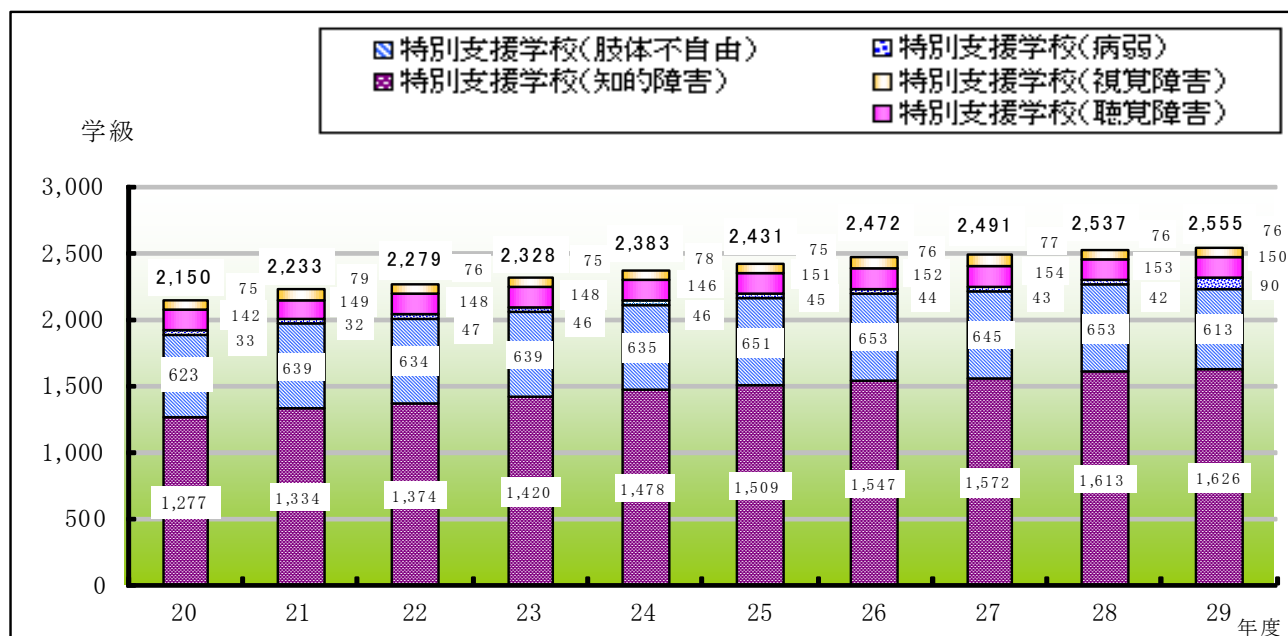
注) 学校数には、分校を含む。

### (2) 学級数

学級数は2,555学級で、前年度より18学級増加している。

障害種別で見ると、視覚障害76学級、聴覚障害150学級、肢体不自由613学級(都立598学級、区立15学級)、知的障害1,626学級(都立1,600学級、区立26学級)、病弱90学級(都立79学級、区立11学級)となっている。(P.74第31表)

図28 学級数の推移



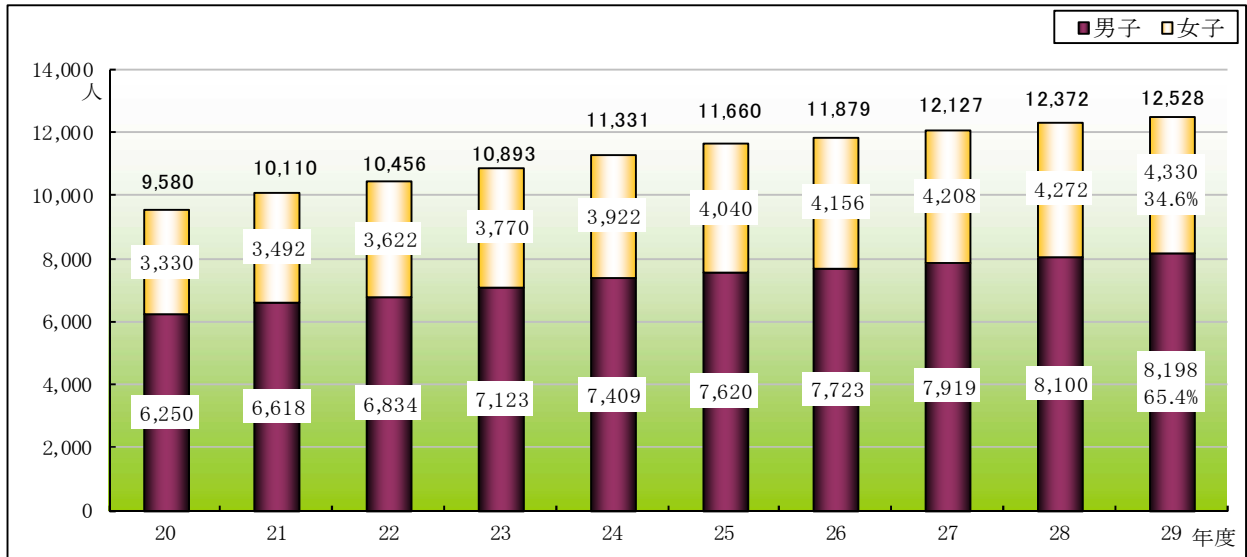
### (3) 在学者数

在学者数は12,528人で、前年度より156人増加している。

障害種別で見ると、視覚障害253人、聴覚障害698人、肢体不自由2,088人(都立2,043人、区立45人)、知的障害9,249人(都立9,147人、区立102人)、病弱240人(都立172人、区立68人)となっている。

男女別で見ると、男子8,198人(構成比65.4%)、女子4,330人(構成比34.6%)で、前年度と比べて、女子の構成比が0.1ポイント増加している。(P.74 第31表)

図29 在学者数及び男女別割合の推移



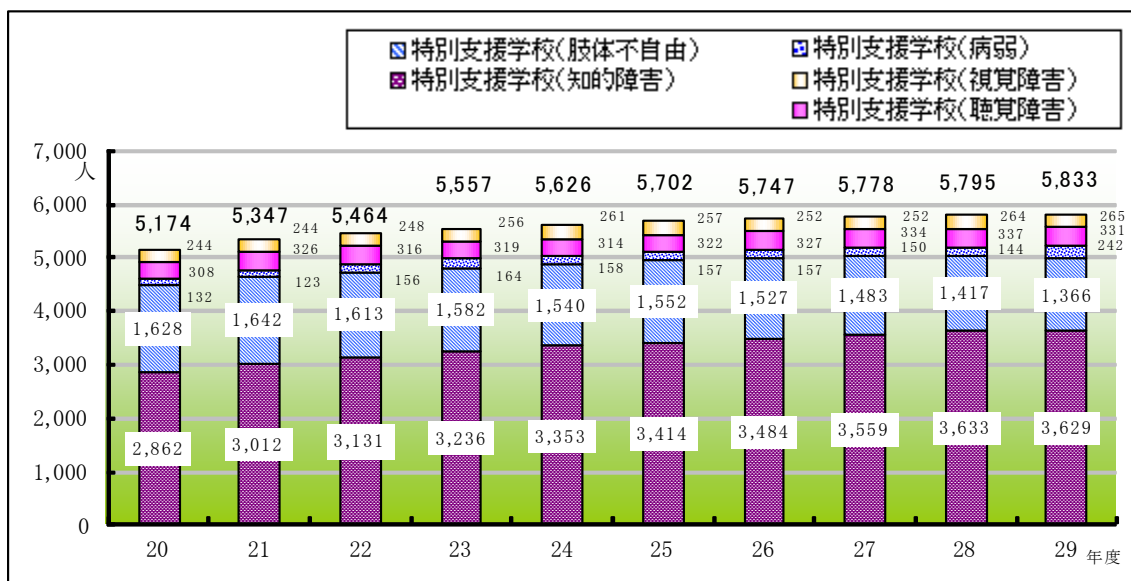
### (4) 教員数

教員数は、5,833人で、前年度より38人増加している。

障害種別で見ると、視覚障害265人、聴覚障害331人、肢体不自由1,366人(都立1,331人、区立35人)、知的障害3,629人(都立3,571人、区立58人)、病弱242人(都立190人、区立52人)となっている。

男女別で見ると、男性2,329人(構成比39.9%)、女性3,504人(構成比60.1%)で、前年度と比べて、女性の構成比が0.1ポイント増加している。(P.76 第32表)

図30 教員数の推移



## (5) 職員数

職員数は、571人(都費負担職員531人、区費負担職員40人)で、前年度より8人増加している。

障害種別で見ると、視覚障害36人、聴覚障害32人、肢体不自由153人(都立147人、区立6人)、知的障害315人(都立306人、区立9人)、病弱35人(都立10人、区立25人)となっている。

男女別で見ると、男性254人(構成比44.5%)、女性317人(構成比55.5%)となっている。

(P.76 第33表)

図31 職員数の推移

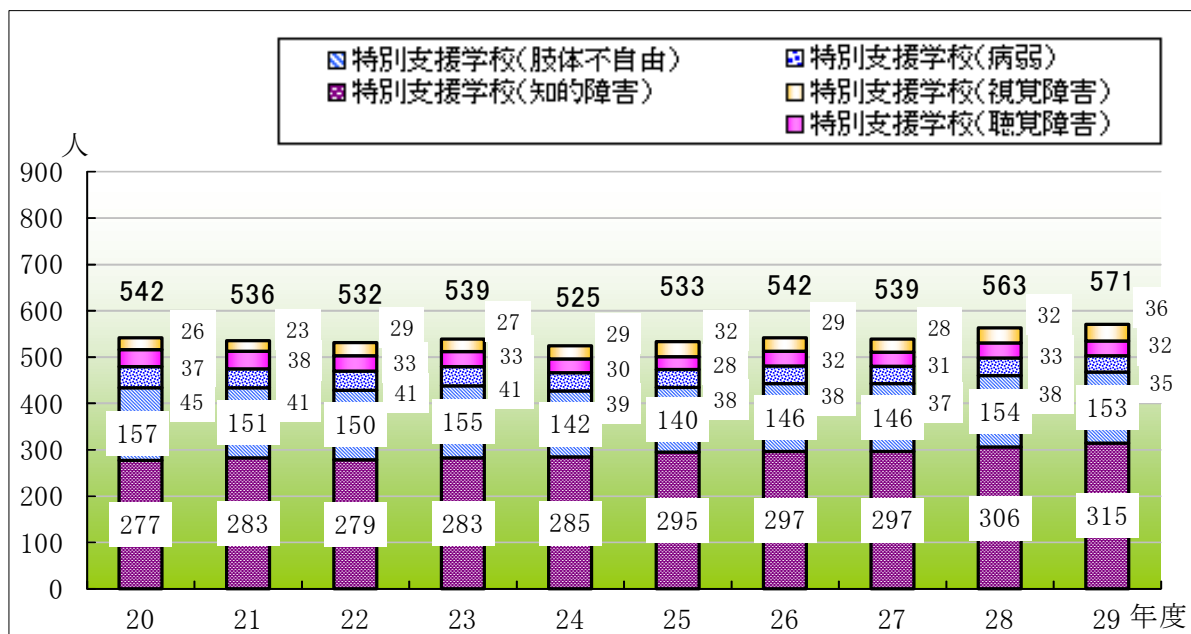


図32 職員の職名別割合

